

### 3. 2 トラックログ案内

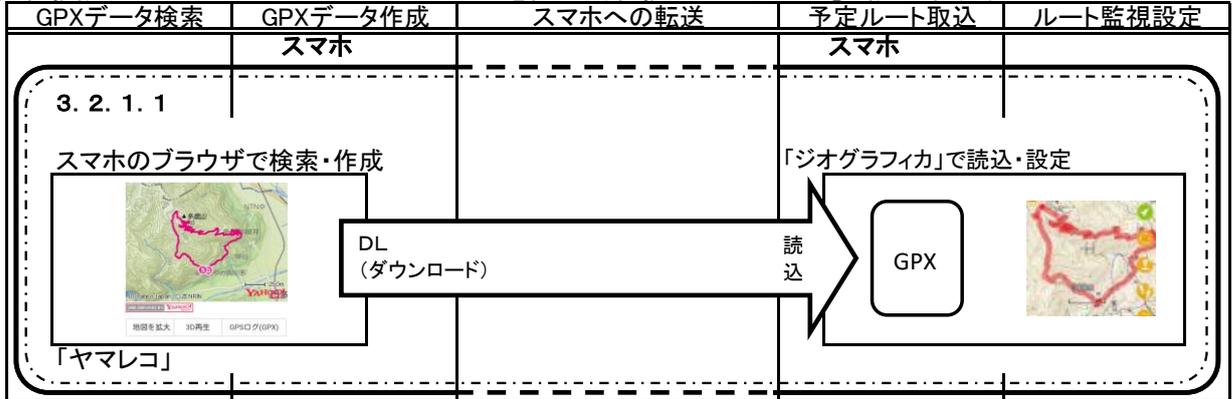
山行予定トラックを「ジオグラフィカ」に登録することにより、山行の安全性が飛躍的に向上します。

- ・ 予定トラックと実績トラックが同一地図上に表示されますので、予定通りに山行できているかを常に確認できます。
- ・ 予定トラックから外れた時、音声メッセージで警報を受け取ることができます。

#### 3. 2. 1 トラックログの登録方法

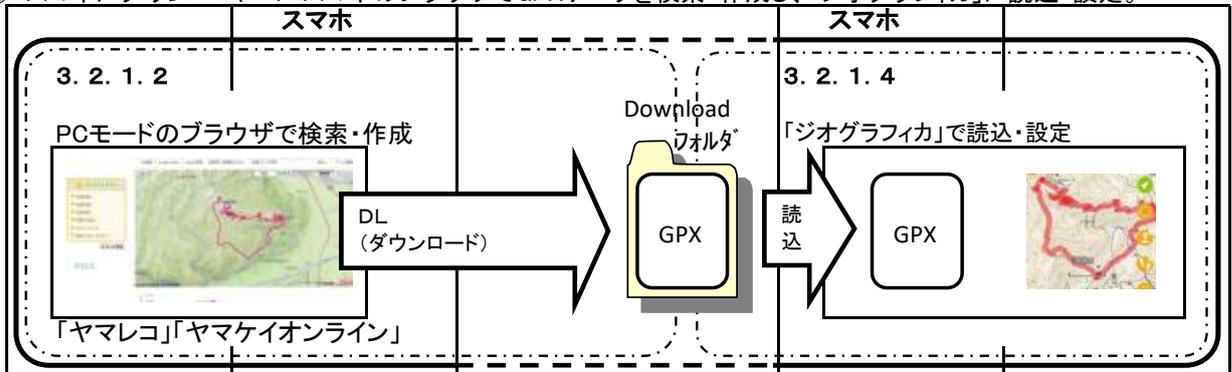
山行予定トラック(GPXデータ)を「ジオグラフィカ」に登録することによりスマホに表示することができますが、このGPXデータをスマホに格納する方法として、以下の方法があります。

- ① 直接読込 : スマホのブラウザでGPXデータを検索し、直接「ジオグラフィカ」に読込・設定。

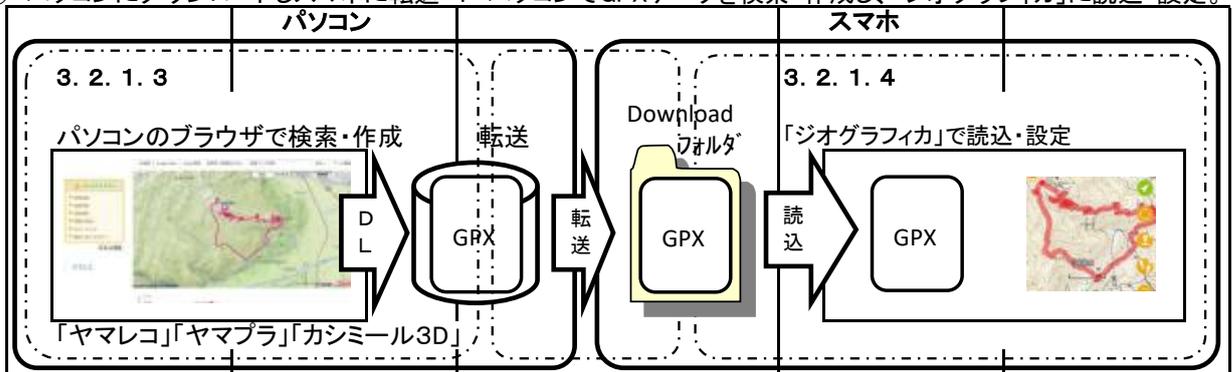


※図中の 3. 2. 1. 1 は以降での説明項番。他も同じ。

- ② スマホにダウンロード : スマホのブラウザでGPXデータを検索・作成し、「ジオグラフィカ」に読込・設定。



- ③ パソコンにダウンロードしスマホに転送 : パソコンでGPXデータを検索・作成し、「ジオグラフィカ」に読込・設定。



ヤマレコ: 株式会社ヤマレコの提供する情報サイト  
 ヤマケイオンライン: 山と溪谷社の提供する情報サイト  
 カシミール3D: DAN杉本氏が提供している登山者向け地図ソフト

### 3. 2. 1. 1 直接読込

スマホのブラウザでGPXデータを検索し、直接「ジオグラフィカ」に読込・設定。  
ヤマレコにある山行記録のGPSログを山行予定ルートにする最も簡単な方法。

この操作の使用条件。

- ・ スマホに格納したいGPSログの記録ID(ヤマレコで山行の記録ごとに付与されている番号)がわかっている。  
※これは、パソコンでヤマレコを使用し、調べておく作業。
- ・ スマホで使用するブラウザはChrome。WEBサイトはヤマレコを使用する。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	<p>Google検索</p>  <p>Android 5.1 Chrome 61.0</p>	<p>検索ワードの入力</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「ヤマレコ」を入力</li> <li>② 検索結果から「ヤマレコ」をタップ www.yamareco.com</li> </ol>
2	<p>ヤマレコ初画面</p>  <p>ログイン画面</p> <p>ユーザID .....</p> <p>ログイン</p> <p>①をタップすると表示されるメニュー</p> <p>1199981 検索</p>	<p>検索</p> <p>ログイン済でない場合は、ログインのメニューが表示されるので以下を行います。 a 「ユーザID」と「パスワード」を入力 b 「ログインボタン」をタップ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「検索ボタン」をタップ</li> <li>② ポップアップメニューに「記録ID」を入力 ※ 記録ID: ヤマレコの山行記録毎に付与されているID。山行記録を絞るまではパソコンで操作し、記録IDをメモしておく。その値を、ここで入力します。 なお、検索機能の有資格者は、山の名称での検索が可能です。</li> <li>③ 「検索ボタン」をタップ</li> </ol>
3	<p>検索結果の表示</p>  <p>①をタップすると表示されるメニュー</p> <p>Geographicaで開く</p> <p>1回のみ 常時</p> <p>別のアプリの使用</p> <p>地図ロイド</p> <p>ヤマレコMAP</p> <p>確認</p> <p>トラックGPXを読み込みます。ポイント数が多い場合処理に時間がかかります。</p> <p>YES NO</p> <p>確認</p> <p>「メニュー」[ファイル][トラック]に保存しました。ただちに表示しますか?</p> <p>YES NO</p>	<p>検索結果からGPXデータのダウンロード</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「GPSログ(GPX)」をタップ</li> <li>② ダウンロードが終了すると、GPSログを渡すアプリメニューが表示されるのでアプリを確認し「1回のみ」をタップ。 ※ 渡すアプリが固定している場合は「常時」を選択 ※ ジオグラフィカが「別のアプリの使用」にあつたら、それをタップ。</li> <li>③ ジオグラフィカの確認メッセージが表示されるので、「OK」をタップ。</li> <li>④ ジオグラフィカの確認メッセージで「ただちに表示かを問われる」ので、「OK」をタップ。</li> </ol>

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
3	<p>取り込んだトラックログの表示</p> 	<p>ロックオンの指定</p> <p>① 表示されているトラックログの表示線を、<b>ロングタップ</b></p> <p>② ポップアップメニューの「<b>ロックオン</b>」をタップ</p> <p>③ ロックオン状態のトラックログの表示線が太くなります。</p> <p>これでトラックログ案内の設定は終了。 実際の山行に備えます。</p>

※ 検索機能の有資格者とは：以下を参照ください。

<https://www.yamareco.com/modules/diary/85874-detail-94149>

3. 2. 1. 2 スマホにダウンロード

スマホ用のブラウザでスマホ用に提供されているWEBサイトから山行記録やモデルルートなどを検索し、GPXデータをスマホにダウンロードし「ジオグラフィカ」に読み込ませ設定します。  
 以下の説明ではWEBサイトとして「ヤマケイオンライン」を利用しています。また、この機能の利用には「ヤマケイオンライン」へのログインが必要なのでヤマケイオンラインのユーザIDが必要です。  
 なお、WEBサイト「ヤマレコ」をFirefoxで操作すると同様の動きになります。

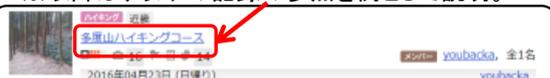
No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	<p>ホームページの表示</p> 	<p>ヤマケイオンラインを開く</p> <p>「検索」ボタンをタップ</p>
2	<p>山の名前による検索結果</p> 	<p>登録されている情報の詳細表示指示</p> <p>「詳細を見る」をタップ</p>
3	<p>検索結果(モデルコースや登山記録が表示される)</p> 	<p>登山記録の詳細表示を指示</p> <p>見たい記録の「詳細を見る」をタップ</p>
4	<p>登山記録の詳細表示</p> 	<p>GPXダウンロード</p> <p>①「GPX Download」をタップ</p> <p>ダウンロード途中メッセージ</p> <p>ダウンロード終了メッセージ              ※フォルダ「Download」に格納されます。</p>
5	<p>※次の操作は「3. 2. 1. 4」。以降の操作は、この「Download」にGPXファイルがあることを前提にしています。</p>	

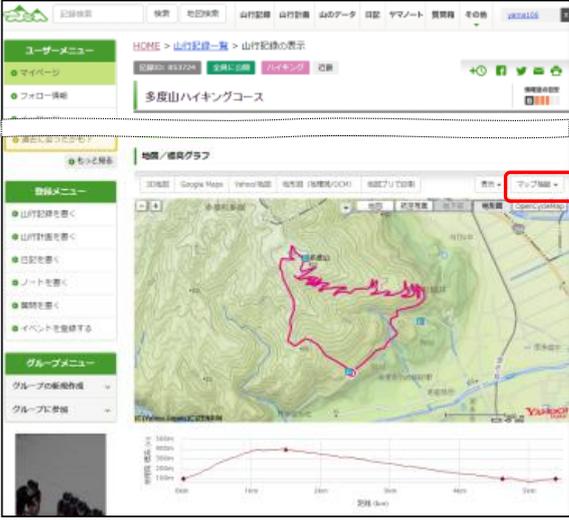
ヤマケイオンライン: 山と溪谷社の提供する情報サイト

### 3. 2. 1. 3 パソコンにダウンロードしスマホに転送

パソコンのブラウザで山行記録・山行計画を検索し、GPXデータをパソコンにダウンロードし、これをスマホに転送します。

#### (1) パソコンのブラウザで山行記録を検索しGPXデータをダウンロード

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	(ブラウザの画面)	ヤマレコのホームページアドレスの入力 <a href="http://www.yamareco.com/">http://www.yamareco.com/</a>
2	ホームページの表示 	ログイン  以下に「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、 <b>ログインボタンをタップ</b> 
2	ホームページの表示 	調べたい山の名称入力   上の領域に、これから行こうとしている山やこれから調べようとしている山の名称を入力。 ※「御在所岳」、「鈴鹿」、「多度山」など  次に「enter」キーの押下。 または、右側の「検索」をクリック。 ※以降「多度山」入力を例として説明。  ※ログインせずゲストのまま利用可能。
3	検索結果の表示 	山行記録の選択  検索結果の山行記録から参照したい記録をクリック ※以降は、以下の記録の参照を例として説明。   ※まれに、登録者が会員のみ参照可として登録している記録があります。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
4	<p>山行記録の表示 地図上への山行ルートを表示、標高・コースタイム・写真・感想などが記述されている。</p> 	<p>記録の参照とGPXファイルのダウンロード</p> <p>①「マップ機能」をクリックし、 ②「GPXファイルをダウンロード」をクリック</p>  <p>③以下のポップアップメッセージの「保存」をクリック</p>  <p>④以下のダウンロード完了メッセージで完了</p>  <p>※ 標準ではパソコンの「ダウンロード」フォルダに格納されます。「フォルダを開く」をクリックしてフォルダを確認しておきます。</p>

ヤマレコ: 株式会社ヤマレコの提供する情報サイト

(2) パソコンでダウンロードしたGPXデータをスマホに転送

パソコンからスマホにデータを転送する方法は

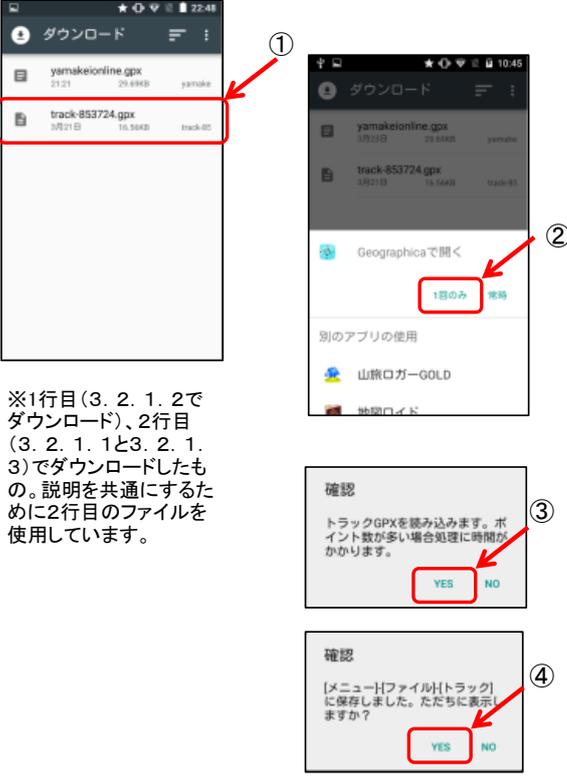
- ・電子メールにファイルを添付してスマホで受信。
- ・Bluetoothによるファイル転送。

各種の方法がありますので、自分で使いやすい方法で転送するとよいでしょう。  
転送先へは、スマホの操作で「Download」フォルダに格納してください。

※次の操作は「3. 2. 1. 4」。以降の操作は、スマホの「Download」にGPXファイルがあることを前提にしています。

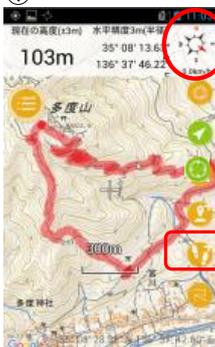
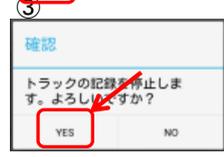
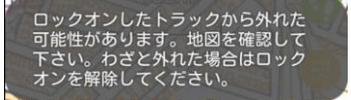
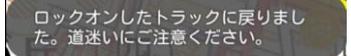
### 3. 2. 1. 4 ダウンロードしたGPXファイルの取り込みと設定

スマホでダウンロードした、或いはパソコンでダウンロードしスマホに転送したGPXファイルを「ジオグラフィカ」に取り込みます。そして、取り込んだGPXファイルをロックオンすることによりトラックログ案内のトラックとなります。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 5.1 ジオグラフィカ 1.1.96</p>	<p>「ダウンロード」を開く</p> <p>左の「ダウンロード」アイコンをタップ。</p>
2	<p>ダウンロードされたファイルの一覧表示</p>  <p>※1行目(3. 2. 1. 2でダウンロード)、2行目(3. 2. 1. 1と3. 2. 1. 3)でダウンロードしたものの、説明を共通にするために2行目のファイルを使用しています。</p>	<p>GPXファイルを「ジオグラフィカ」に取り込む</p> <p>これまでの操作でダウンロードしたGPXファイルを「ジオグラフィカ」の管理下に置きます。</p> <p>①取り込みたいファイル名をタップ</p> <p>②「ジオグラフィカ」で開くので、このままで、「1回のみ」をタップ</p> <p>③確認メッセージが表示されますが「YES」をタップ</p> <p>④ただちに表示の「YES」をタップ</p>
3	<p>取り込んだトラックログの表示</p> 	<p>ロックオンの指定</p> <p>① 表示されているトラックログの表示線を、ロングタップ</p> <p>② ポップアップメニューの「ロックオン」をタップ</p> <p>③ ロックオン状態のトラックログの表示線が太くなります。</p> <p>これでトラックログ案内の設定は終了。実際の山行に備えます。</p>

### 3. 2. 2 トラックログ案内による山行

ロックオンされたトラックログをお手本に、この軌跡を辿りながら山行します。山の初級者にはとても親切な機能です。GPXファイルの取り込みが必要です。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 4.2.2 ジオグラフィカ 1.1.96</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2	<p>「ジオグラフィカ」初画面(トラックログロックオン後)</p>  	<p>トラックログ(GPSログ)の開始</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「トラックログ開始」ボタンをタップ</li> <li>② ポップアップメニューに対し、「トラックログの名前」を入力し、「ボタン」をタップ</li> </ol> <p>※トラックログの名前を未入力だと「新しいトラック」という名前が使われる。</p>
3	<p>トラックログ(GPSログ)取得中</p>   	<p>現在地と進行方向の確認</p> <p>赤い太線: ロックオンされた山行予定トラック 青色の線: 実績トラックログ</p>  <p>逸脱</p>  <p>復帰</p>  <p>※進行方向の確認方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方法1: 画面右上のコンパスを真北に合わせる。地図と方位が一致するので、地図を参照しながら進行方向を確認する。</li> <li>・方法2: 現在地カーソルを予定ルートに合わせる。上記状態の時のスマホの向き(画面のステータス表示域を矢印の方向と見なす)が進行方向となる。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 山行予定が終了したら、緑色状態の「トラックログ開始ボタン」をタップ</li> <li>② トラックログの状況とともに次のアクションを求めるポップアップメッセージが表示されるので、「ボタン」をタップ</li> <li>③ トラックの記録停止を確認していただくので、「YES」をタップ</li> </ol> <p>これでトラックログ(GPSログ)の取得は終了。</p>

3.3 音声案内およびその他の設定

ジオグラフィカの音声案内はとても便利です。「はじめに」でも紹介した「N2 TTS」をインストールし、下記の設定を行います。また、設定した方が良いものを示します。

No.	画面の状態	画面に対する操作内容
1	 <p>Android 5.1 ジオグラフィカ 1.2.1</p>	<p>「ジオグラフィカ」を開く</p> <p>左の「ジオグラフィカ」アイコンをタップ。</p>
2 「ジオグラフィカ」の初画面	 	<p>設定画面を開く 以下の順番に操作します。</p> <p>①「メニューボタン」をタップ ②ポップアップメニューから「設定」をタップ ③設定メニューから「一般」をタップ</p> <p>※設定画面は、ひとつになっており、それぞれの項目を選択すると設定画面の該当項目に位置づけられます。</p>
3 設定画面	<p>初期値</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="517 1016 798 1055"> <p>画面の向き 縦固定</p> </div> <div data-bbox="517 1084 798 1122"> <p>ストレージ SDカード</p> </div> <div data-bbox="517 1240 798 1323"> <p>スケール 単線</p> <p>スケールの線 太さ: 2 a: 80.0%</p> </div> <div data-bbox="517 1352 798 1391"> <p>期間 無制限</p> </div> </div>	<p>画面の向き: 自動、<u>縦固定</u>、横固定</p> <p>ストレージ: 本体、<u>SDカード</u></p> <p>スケール: なし、十字、四角、円、<u>単線</u> 四角にする場合は線を細く・色を薄くする。</p> <p>キャッシュ期間: 1週間、2週間、1ヶ月、<u>無制限</u></p> <p>トラックリンク: <u>ON</u>(GPSログ連動)、OFF</p> <p>インターバルスピーチ: <u>ON</u>、OFF</p> <p>スピーチ間隔: 5分、10分、15分</p>

